

薬剤検索ソフト(OrcaSyohou)操作説明



デスクトップにあるアイコンをクリックして
起動します



メニュー画面が開きます

①薬剤名で検索する場合はこのボタンを
押します。→

2ページ目 **薬剤名検索画面を参照**

②採用薬の薬効別リストを見る場合は
このボタンを押します。→

4ページ目 **薬効別画面を参照**

③Orcaに登録されている処方内容を
調べる時に押します。通常は使うことは
ないと思われます

④採用薬リストをOrcaから読み込んで
保存します。

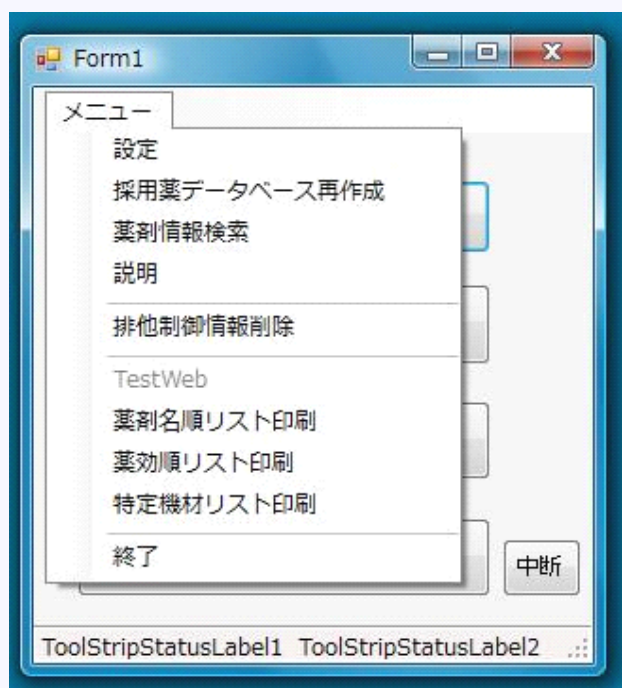
1ヶ月に1回くらい押して

リストを更新してください。

1ヶ月以上更新していないと起動時に
メッセージが出ます。

(更新していなくても使用はできます)

⑤更新作業を中断する場合に押します。



メニューを表示した状態で

「説明」を選ぶと説明が表示されます

「薬剤名順リスト印刷」

採用薬の薬剤名順のリストを印刷します

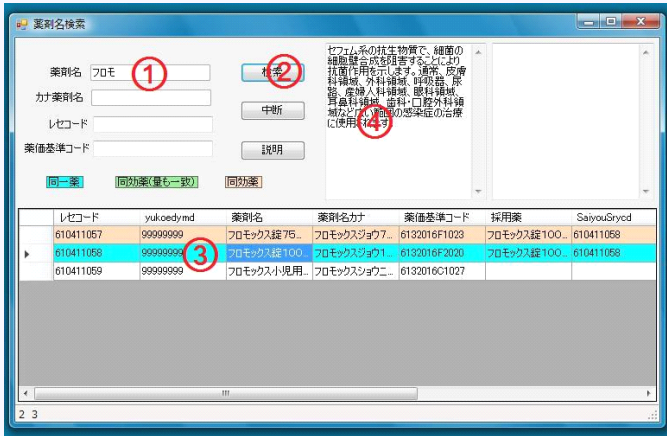
「薬効順リスト印刷」

採用薬の薬効順のリストを印刷します

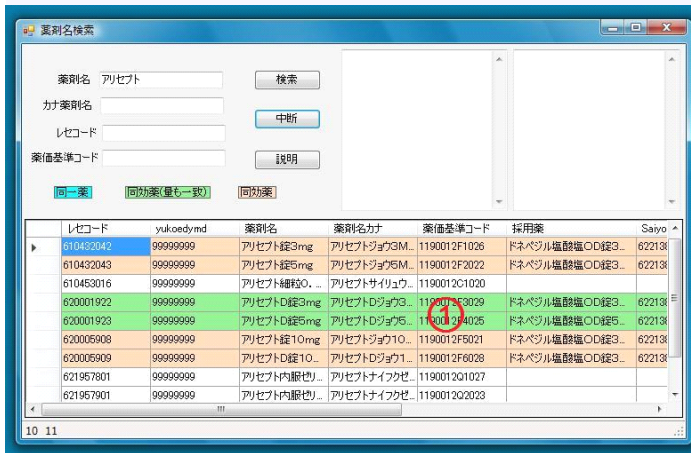
それ以外のメニューは基本的には

触らないでください

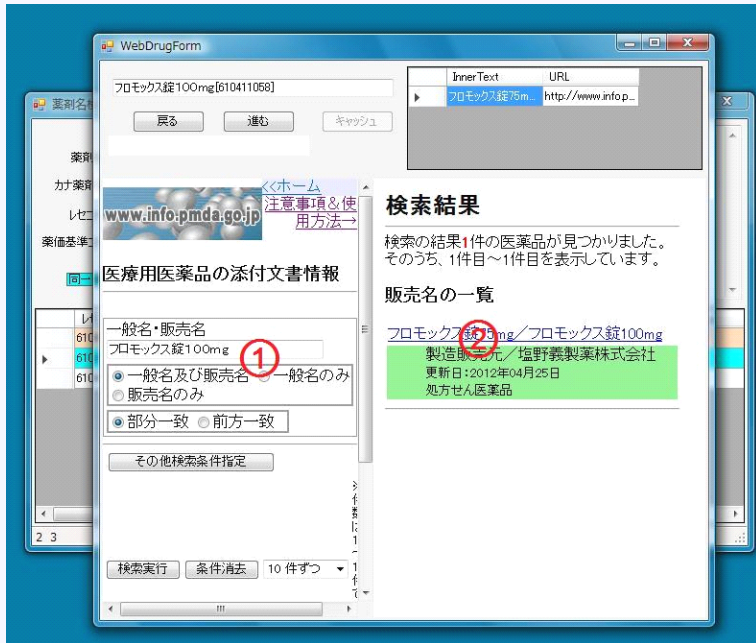
薬剤名検索画面



- ①に検索したい薬剤名の一部を入力します。
- ②検索ボタンを押します。
- ③ここに検索された薬剤リストが表示されます。
「薬剤名」列に検索された薬剤名が入ります。
「採用薬」列には採用されている同効薬名が入ります。
行によって色が違いますが、
水色はその薬剤が採用されているものです
緑色は同効薬で量も一致するものです
ピンクは同効薬で量が一致しないものです
白は同効薬がありません。
左の例ではフロモックス100mgが採用されていることが分かります
- ④にはOrcaに登録されている薬剤情報が表示されます。(一部薬剤のみ表示されます)

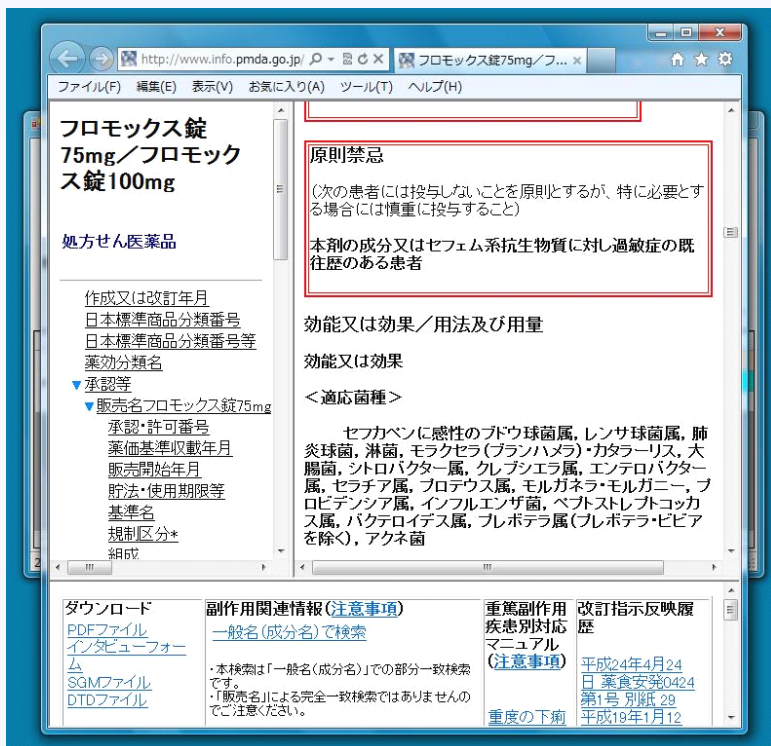


左の例では「アリセプト」を検索しています。リストには水色が無いのでアリセプトは採用されていません。緑の行があるので、ドネペジルOD錠が採用されていることが分かります。



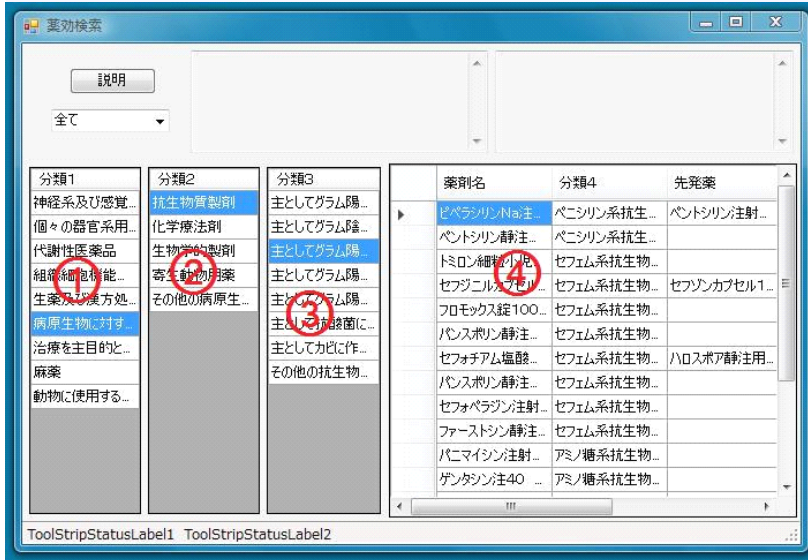
インターネットに繋がっている状態で、**薬剤名の部分をダブルクリック**するとPmda(医薬品医療機器総合機構)のページを表示してその薬剤を検索します。

- ①に薬剤名が入ります
 - ②に結果が表示されます。
- この部分をクリックするとブラウザが開きます

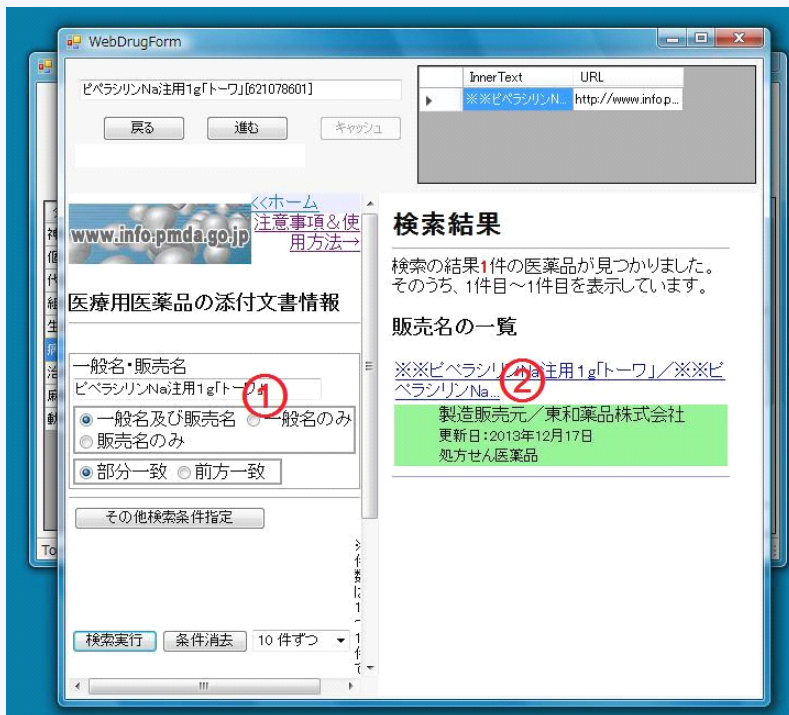


左はブラウザ(IE)が開いた状態で**薬剤の能書が確認**できます。

薬効別画面



薬効分類した採用薬リストを見るための画面です。分類は薬価基準コードを元に行っているため、実際の薬効とは分類が異なる場合があります。①→②→③の順に細かい分類になります。この順に見たい部分をクリックします③を押した時点で④にリストが表示されます。「薬剤名」欄に採用薬名が表示されます「先発薬」欄にはもしあれば先発薬が表示されます左の例ではピペラシリン、セフジニルセフォチアムに対して表示されています



薬剤名をダブルクリックするとPmda(医薬品医療機器総合機構)のページを表示してその薬剤を検索します。①に薬剤名が入ります②に結果が表示されます。この部分をクリックするとブラウザが開きます